

情 報 公 開 文 書

研究の名称	膵管内乳頭状粘液性腫瘍の手術適応における High risk stigmata および Worrisome feature の有用性の検討
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系 内科学（第三） 安田一朗
研究の概要	【研究対象者】 2018 年 6 月から 2027 年 1 月に当院において手術適応のある IPMN と診断し実際に外科手術を施行した患者さん 【研究の目的・意義】 膵管内乳頭状粘液性腫瘍（IPMN）は一部の症例で悪性化することが知られています。悪性化リスクが高いことを示唆し手術適応を判断するための所見として High risk stigmata(HRS)や Worrisome feature(WF)が定められています。その定義については近年議論の余地があるとされています。本研究では当院で外科的治療の適応と判断した IPMN 症例について、Kyoto guidelines における HRS および WF と術後病理診断を比較し、その有用性について検証します。 【研究の方法】 2018 年 6 月から 2027 年 1 月に当院において手術適応のある IPMN と診断し、実際に外科手術を施行した症例を対象として、カルテなどから臨床情報を収集し解析を行います。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日 【利益相反の状況】 公開する利益相反はありません。 【研究結果の公表の方法】 この研究の解析結果は、専門学会への発表、論文化を通じ公表されます。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	本研究で用いるデータの管理は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。また対照表は研究責任者並びに分担者が保管・管理します。また、本研究で使用するデータ（年齢、性別、病名、検査所見、手術所見、術後経過）はカルテ上に存在する検査画像やレポート、診療記録等を使用します。他機関への情報提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	富山大学学術研究部医学系内科学（第三）教授 安田一朗
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7301

対応窓口	FAX 076-434-5027 E-mail junsaka@med.u-toyama.ac.jp
------	---